



2025 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 BRUNO株式会社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 塩 田 徹
(コード番号 3140 グロース)
問 合 せ 先 常務執行役員経営企画部長 松原 元成
(電話番号 03-6631-0000)

通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2025 年 5 月 15 日に公表いたしました 2025 年 6 月期業績予想と実績値について、下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2025 年 6 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異 (2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日)

	連 結 売 上 高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,000	百万円 400	百万円 280	百万円 100	円銭 6.97
実 績 値 (B)	14,502	440	329	192	13.43
増 減 額 (B - A)	502	40	49	92	
増 減 率 (%)	3.5	10.1	17.5	92.6-	

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
(参考) 前期実績 (2024 年 6 月期)	百万円 12,940	百万円 146	百万円 11	百万円 △334	百万円 △23.35

※ 前回発表予想は 2025 年 5 月 15 日「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した 2025 年 6 月期連結業績予想数値です。

2. 差異が生じた理由

2025 年 5 月 15 日「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した 2025 年 6 月期通期連結業績予想値と実績値との差異が生じた理由は、主として以下の (1) ～ (3) の影響になります。

(1) 組織改革による効果 ～売上、営業利益増加～

2025 年 4 月より、事業運営体制のさらなる強化と市場変化への迅速な対応を目的として、商品カテゴリー別の事業部制へと移行いたしました。これに伴い、従来の販路別管理に加え、商品別のマトリックスによる

予実績管理を導入し、部門間の情報共有および社内コミュニケーションの活性化を図っております。これにより、各事業部が市場ニーズを的確に捉え、迅速かつ柔軟に施策を立案・実行した結果、連結売上高は前回発表予想の 14,000 百万円に対して、実績 14,502 百万円と 502 百万円増加いたしました。

商品カテゴリー別の事業部制への組織移行に伴い、コスト管理の徹底を図っています。在庫削減策の立案・実行により物流コストの圧縮を進めるなど、効率的な運営体制の構築に努めています。これらの取り組みも含め、連結営業利益は、前回発表予想の 400 百万円に対して、実績は 440 百万円と 40 百万円増加いたしました。

（２）円高効果

2025 年 4 月以降、為替レートが円高に推移したことから為替差益が 4 百万円増加したことも含め、連結経常利益は前回発表予想 280 百万円に対して実績 329 百万円と 49 百万円増加いたしました

（３）繰延税金資産の追加計上

繰延税金資産につきまして、2025 年 6 月期第 4 四半期（2025 年 4 月～6 月）における営業利益が前回発表予想を上回る水準で着地したこと、および今後の業績見通しを総合的に勘案した結果、同四半期において繰延税金資産を 23 百万円追加計上いたしました。このことも含め、結果として連結当期純利益は前回発表予想 100 百万円に対して実績 192 百万円と 92 百万円増加いたしました

注）繰延税金資産を計上するにあたり使用している課税所得見通しについては、直近の実績を踏まえて見積もったものであり、当社が計画している中期経営計画の数値とは異なっております。

以 上